

善徳

七三四一〇〇〇四
広島市南区宇品神田四一十一一八

☎ 082(251)6029

善徳寺

今年の夏はオリンピックが開催され、無観客とはいえ、世界中の選手や関係者が来日しました。

その人たちというわけではありませんが、漢字を単なるデザインとしてカッコいいと思っただ海外の人が、変な意味の日本語が書いてあるTシャツを着たり、入れ墨したりしているものを見ることあります。例えば、「絶壁」とか、「水道」とか、日本人からしたら、絶対採用しないような文字です。

私たち日本人も、英語があたりであるTシャツやバッグを、意味がわからずに着たり持ったりしていませんか、英語圏の人からすると、噴飯ものの言葉があるようです。

例えば、「下痢」という

意味の単語だったり、「私」は沢山の才能があります。例えば「寝る」とかといった言葉だったりです。知っていたら絶対買わないでしょうし、今まで平気で着ていたものが、意味がわかった途端に着る気がなくなることでしょう。

昔、外国語をならった時に、「これは伏字にするような汚い言葉だ」といわれても、意味を知らずに音だけでは、その感じが全くわからないので、少し不思議な気持ちでしたのを覚えています。

その時、きれいな言葉も、汚い言葉も、知った時に覚える努力、使う努力は全く同じなんだと気がつきました。

そう考えると、私たちの日本語でも、使う努力は同じなんだから、なるべくきれいな言葉、きれいな言い方をしたいものだと思います。

和顔愛語(わげんあいご)という言葉があります。

大無量寿経の中に出てくる言葉です。阿弥陀如来がまだ法蔵菩薩であった時に、四十八の願を立てられました。そして願を成就すべく修行されている時のお姿として、「和顔愛語」にして、意を先にして承問す(相手の気持ちを満たすように、やわらかな顔とやさしい言葉で接する)という形容が出てきます。

私たちは、人から笑顔を向けてもらうと、自然につられてこちらにも笑顔になるものです。

そして、最近の研究結果で、楽しくなくても無理にでも笑顔をつくれれば、脳がそれに反応してストレスが軽減するのわかりました。

周りにも自分にもいいことばかりの「和顔愛語」ですね。お釈迦様が説かれたお経の中に、物やお金がなくてもできる「無財の七施」の教えがあり、その中にも出て来ます。

「やわらかな顔で相手に接する施し」「やさしい言葉で相手に接する施し」

何も持っていないなくてもあげられるものがあるって素晴らしいじゃないですか？今からは是非実践してみましよう。

行事案内

報恩講法要

来月又寺報でご案内します

常朝時

毎朝七時より八時まで

正信偈勤行と經典解説

現在、大峯顕著「永遠と今

浄土和讃を読む」を音読中

となたでもお参り下さい



秋季 永代 経法要

十月二十七日(水) 昼席 一時 夜席 七時半

二十八日(木) 朝席 八時 昼席 一時

講師 岡山県高梁市 浄福寺 山下 瑞円 先生

尚、二十五日(月) 午後一時よりおみがきをします。



令和四年度前期

回忌法要御案内

(敬称略)

一周忌(令和三年寂)

一月 向谷博文

二月 藤原秀俊

三月 今村勉

四月 末吉勝子

五月 永易修治

六月 高田信子

塩形富三

石妙よしえ

花本広子

堀本美智子

岸 孝子

長野 洋

北崎 敏彦

寺西征司

半田 斌

田立昌和

小池文字

金丸万壽子

小林勝義

眞鍋安正

山下千昭

渡 喜和

三宅百合子

三宅百合子

三宅百合子

三宅百合子

七回忌(平成二十八年寂)

一月 中村幸三

二月 伊達信夫

三月 湯藤進

四月 廣藤ユリ

五月 上本隆康

六月 川崎ソノエ

黒瀬コシマ

廣岡奈美

田中ミチ子

濱中良子

中尾ハヤノ

上村信行

井上逸男

中神長義

中松八千代

渡辺易子

坂戸朝之

力万晴美

中杉定夫

石井照視

面川護

中元ツキ工

大下トミ

近藤ツユ子

沖本俊丸

福本正勝

久保田ミヅ子

久保田ミヅ子

久保田ミヅ子



一七回忌(平成十八年寂)

一月 倉岡澄雄

二月 橋野初一

三月 谷川ハルミ

四月 藤原美千恵

五月 藤堂又三子

六月 井上初恵

岡本君子

福本マサ子

上本ヤエ子

藤岡克己

大成武

中野吉太郎

安藤壽雄

柴崎ミツ子

三浦節子

池田キイ

高松勝代

原田昭三

高橋洋子

神尾時雄

山本安子

高松勝代

池田キイ

池田キイ

池田キイ

池田キイ

池田キイ

池田キイ

池田キイ



三十三回忌(平成二年寂)

一月 今村イサミ

二月 今村イサミ

三月 今村イサミ

四月 今村イサミ

五月 今村イサミ

六月 今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

今村イサミ

五十回忌(昭和四十八年寂)

一月 中野忠一

二月 徳田常一

三月 小早川唯政

四月 徳田セキ

五月 荒谷信義

六月 土井シナ

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

高田しず代

敬 弔

お浄土に参られた方を謹んでお知らせ致します。

八月四日寂 御幸四丁目

川本貞勝様 行年九十二才

八月八日寂 東五丁目

余頃 悟様 行年九十九才

八月十六日寂 東六丁目

佐伯政行様

九月二十五日寂 元宇品

増田稔夫様 行年七十九才

九月二十六日寂 東雲本町

大儀憲人様 行年九十才

十月八日 平野町

村本サカ工様 行年九十五才

「善徳」年七回発行

護持会員には毎回配布

ホームページ「宇品善徳寺」

郵便番号 七三三〇〇四
広島市南区宇品神田四丁目十一の八 宗教法人 善徳寺
電話 082(251)6029
もみじ銀行宇品支店(普)008・0686234